令和4年1月 健康保険法が改正されます

任意継続被保険者制度の見直し

資格喪失事由として「被保険者からの申出」が追加され、任意で脱退できるようになります。

任意脱退を希望する場合は、「資格喪失申出書」を提出してください。

健保組合が申出書を受理した日の翌月1日が資格喪失日となり、喪失月以降の納付済保険料がある場合は返還します。

[詳細ページ](#) [会社を辞めた後の任意継続](#)

傷病手当金の支給期間の通算化

傷病手当金の支給期間が、支給開始日から通算して1年6カ月に達する日までとなります。

支給開始日から起算して1年6カ月を超えても、支給期間中に就労するなどして傷病手当金が支給されない期間がある場合には、支給されない期間分を追加で支給します。

施行日前日時点で支給開始から起算して1年6カ月を超えていない傷病手当金（令和2年7月2日以降に支給開始された傷病手当金）が対象です。

詳細は「別紙 ユニチカ健康保険組合からのお知らせ」を参照ください。

[詳細ページ](#) [病気やケガで働けない](#)

出産育児一時金の支給額について

産科医療補償制度の掛金が1.6万円から1.2万円に引き下げられることを踏まえ、出産育児一時金の支給額が40.4万円から40.8万円に引き上げられます。

産科医療補償制度に加入している分娩機関で出産した場合の支給額は42万円ですが、未加入の分娩機関での出産等の場合は40.8万円になります。

施行日以降の出産に係る出産育児一時金が対象です。

[詳細ページ](#) [本人または家族が出産した](#)

セルフメディケーション税制について

所得税法等の一部を改正する法律による租税特別措置法の改正により、期限が令和8年まで延長されます。

令和3年分以後の確定申告書を令和4年1月以後に提出する場合は、一定の取組に係る書類の添付又は提示が不要となります。

[詳細ページ](#) [医療費控除](#)

令和4年1月1日から 健康保険の傷病手当金の支給期間が通算化されます

治療と仕事の両立の観点から、より柔軟な所得保障ができるよう、「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）」により健康保険法等が改正されました。

この改正により令和4年1月1日から、傷病手当金の支給期間が通算化されます。

改正のポイント

● 傷病手当金の支給期間が、支給開始日から「通算して1年6か月」になります。

- ・ 同一のケガや病気に関する傷病手当金の支給期間が、支給開始日から通算して1年6か月に達する日まで対象となります。
- ・ 支給期間中に途中で就労するなど、傷病手当金が支給されない期間がある場合には、支給開始日から起算して1年6か月を超えても、繰り越して支給可能になります。

● この改正は、令和4年1月1日から施行されます。

- ・ 令和3年12月31日時点で、支給開始日から起算して1年6か月を経過していない傷病手当金（令和2年7月2日以降に支給が開始された傷病手当金）が対象です。

支給期間の考え方

現行の傷病手当金の支給期間

療養期間		療養期間		療養期間		
出勤	欠勤	欠勤	出勤	欠勤	出勤	欠勤
	待期間	支給	不支給	支給	不支給	不支給

← 1年6か月 →

※支給開始日から起算して
1年6か月経過後は不支給

改正後の傷病手当金の支給期間

療養期間		療養期間		療養期間		
出勤	欠勤	欠勤	出勤	欠勤	出勤	欠勤
	待期間	支給	不支給	支給	不支給	支給

通算1年6か月

※支給開始日から通算して
1年6か月まで支給

お手続きの詳細については、ユニチカ健康保険組合 給付担当 までお問い合わせください。